

# まほろん

通信

Shirakawa since 2007



企画展紹介

「ものづくりに学ぶ」～U15の考古学～



入館者 60 万人達成 !!



〔レポート〕

まほろんゴールデンウィーク特別体験



ようこそ!まほろん

新収蔵資料&遺跡紹介「こわぜ小和瀬遺跡」



# 「ものづくりに学ぶ」

アンダー  
～U15の考古学～

文：鶴見諒平（主任学芸員）

福島で古くから伝わる「ものづくり」の技術を子どもたちに知ってもらおう企画展を開催中です。



「フタリビキロクロ」実演の様子  
(木地をつくる道具)

2022年に続き、「U15の考古学」を今年も開催しています。今年は、ふくしまに息づいてきた「ものづくり」について、遺物からわかる「ワザ」を紹介します。

遺物の中には、むかしの人たちが生活の中で使用していた道具が含まれています。



粘土の紐を積んだ痕が残った土器

そのような道具は、暮らしの中で、それを使う人たちによって生み出されてきました。

遺物にはものづくりの「ワザ」の痕が残っています。例えば、土器の表面には粘土をひもにして積んだ痕、粘土のひもとひもとのつなぎ目をなくすために指や道具でなでた痕が残ります。また、縄文土器にある模様も、竹の管や縄など昔の人が様々な道具を使ってつけた「ワザ」の痕です。

遺物を観察し、実際につくってみたりすると、昔の人たちの「ワザ」の奥深さがわかってきます。

そして、ものをつく



石器をつくる時に出了カケラ

る途中に出たカケラなど、捨てられてしまうものも、昔のものづくりを知るには大切なものです。石を割って道具をつくった後には、たくさんの石のカケラが残ります。木で道具をつくった後には、木を削ったカケラが残ります。

砂鉄から鉄をつくった後には、鉄以外の成分が固まった塊が大量に残ります。そのようなカケラからは、製作場所だけでなく、どのような「もの」をつくっていたのかがわかります。



この企画展では、遺跡に残った「かなくそ」遺物を見て、そこからわかるワザを紹介するだけではありません。実際に現代の職人さんたちが「ものづくり」をしている動画も見て、そのワザを知ることできます。また、展示品の中には、「ものづくり」のワザを体験できるコーナーもあります。ぜひ、まほろんで昔の「ものづくり」を知ってください。

「U15」（15歳以下）とタイトルにありますが、それ以上の年代の方たちにも興味を持ってみていただけたらと思います。

表紙の1枚

5月に行った「入館者60万人達成記念」セレモニーの様子です。石川館長も参加し、60万人目の方々とほかの来館者のみなさまとお祝いしました。

編集後記

今年の夏は久しぶりに遠出をされる方も多いのではないのでしょうか？まほろんでは夏の土偶づくり講座にあわせて「土偶推し」の企画を用意しております。ぜひこの夏は土偶づくしのまほろんへお越しください。



# 祝 入館者 60万人！



コメント：館長 石川日出志

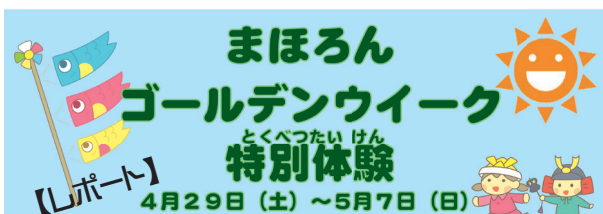
当日朝から 60 万人達成がどうなるのかを心配しておりましたが、全く事前告知をしていない中、一緒に来館して下さった高校生お二人が 60 万人目となりました。

彼女たちは、地元白河高校の生徒さんで、中間試験の準備のために、日本史の教科書を片手に、まほろんの展示を見に来たのだそうです。彼女たちがまほろんと歴史の勉強をつなげようとしてくれたことがとても嬉しかったですね。

また、初来館ではないとのこと、当館が、地元の方が繰り返し利用する場になっていると感じることもできました。今後も大きなイベントに限らず、日常的に小さな楽しみ方もできる、たくさんの方々が繰り返し来館していただける、そんな親しみやすい施設であり続けたいと思います。

それは地味な取り組みかもしれませんが、今回の彼女たちは、将来につながる「地道な努力」を重ねることの大切さを私たちに実感させてくれました。

まほろんを来館された小学・中学・高校生の皆さんが、将来、大人になっても忘れることなく、今後 80 万人、100 万人目の来館者として訪れていただける日を切に願っております。



## たくさんのご来館ありがとうございました！

コロナウイルス感染症に伴う騒動も落ち着きつつある中でのゴールデンウィーク。久しぶりに遠方からの来館者が多く訪れました。

「火おこし体験」にたくさんの方が挑戦し、成功していました。また「まほろん博士をさがせ」では館内にあるまほろん博士のクイズに回答、期間中に 3 回挑戦した人へ特別景品をお渡ししました。

火おこしチャレンジ



まほろん博士を探せ



# 新収蔵資料&遺跡紹介

## —小和瀬遺跡—



まほろんには、福島県教育委員会の委託を受けた福島県文化振興財団の遺跡調査部が発掘調査を実施した遺跡の資料が収蔵庫にて保管されています。今回は令和4年度に新たに収蔵資料に加わった「小和瀬遺跡」についてご紹介します。

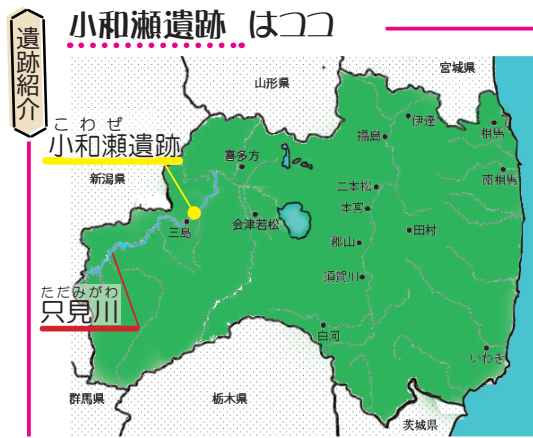
文：吉野滋夫（専門学芸員）

ワタシ、発掘調査に携わりました

小和瀬遺跡は大沼郡三島町の北端部にあり、奥会津を流れる只見川が形成した河岸段丘上に位置します。

小和瀬遺跡は柳津ダム completion により水没してしまいましたが、只見川築堤計画により試掘調査が行われ、遺跡範囲が広がることが明らかとなりました。これにより令和元（2019）年に、発掘調査が行われました。

調査の結果、縄文時代晩期頃の遺構（竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土器埋設遺構・土坑・焼土遺構・遺物包含層）や縄文時代晩期から弥生時代中期にかけての遺物（土器・土製品・石器・石製品）が出土しました。



小和瀬遺跡出土 縄文土器（浅鉢）  
縄文時代晩期



けっこう大変なんですよ。

発掘☆ナイスジョーバなし

（現場がダムのため）本来水没しているところを水位 2 m 下げて調査しました。期間も場所も限られ「待つたなし」の現場でした。

期間限定☆ 8/8 ~ 8/13

- ・どぐうをさがそう
- ・火おこしに挑戦（毎日）



墨流しうちわづくり



土偶のおかおブローチづくり

夏休み in まほろん

体験活動メニュー

7/15 ~ 8/31

どぐうがたくさん待ってます

### まほろんの主な今後の予定

※予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂るか、まほろんホームページをご覧ください。

●まほろんでは新型コロナウイルス感染症対策の拡大防止に取り組んでいます。

~ 8/20（日）企画展 「ものづくりに学ぶ」~ U15 の考古学 ~	9/16（土）~ 10/15（日） 特別展示「川俣町前田遺跡調査成果展」
8/19（土）第2回館長講演会	9/18（月・祝） 「川俣町前田遺跡調査成果展」関連講演会
8/19（土）・8/20（日） 実技講座「U15 土偶づくり」	9/23（土・祝）第3回館長講演会
9/3（日）まほろん森の塾（第3回）	10/9（月・祝）実技講座「編みかごづくり」



絶賛受付中

☆実技講座（WEB 配信）

「うちでできる土器づくり」「うちでできる勾玉づくり」



随時更新中！

まほろん公式 SNS

フォロー & チャンネル登録  
お待ちしております！

INSTA  
GRAM

YOU  
TUBE



まほろん  
通信  
vol. 88

令和5年7月12日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00（入館は 16:30 まで）  
休館日 月曜日（7/17、9/18、10/9 を除く）、  
7/18、9/19、10/10、年末年始（12/28 ~ 1/4）  
入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）

お問い合わせ



〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

TEL 0248-21-0700

Fax 0248-21-1075

ホームページ

まほろん

検索

